

空港で起きている、人の気をそ らせた隙に行われる盗みに注意

ピール郡警察、空港分署犯罪捜査課係官は、ピアソン国際空港を利用する人々が、周囲に警戒を怠らないよう呼びかけている。捜査官達は、人の気をそらせて行われる盗みが増加しているとしている。

ここ数ヶ月、ピアソン国際空港で、人の気をそらせて行う盗みを働いた犯人7人が逮捕されており、他の盗難事件の捜査が続いている。この種の盗みは、2~3人の犯人が組みになって行われる。犯人の1人が、携帯電話で話中、荷物の積み込み中、レンタカーの借り出し手続き中、チェックイン、ないしはコーヒーショップで休んでいる被害者に話しかける。最初の犯人が被害者とやり取りしている間に、他の犯人(達)が、被害者の持ち物を盗む。

犯人たちはブリーフケース、エレクトロニック製品(ラップトップ、i-pod、携帯端末)、パスポートないしは被害者の目が届いていない品物を狙う。

ピアソン国際空港を利用する旅行者は、貴重品やカバンを常に手元に持ち、見知らぬ人から話しかけられたら十分に注意されたい。あなたは狙われている可能性がある。特にチェックイン、ないしは車からの荷物の積み下ろし時には注意が肝要だ。

さらに詳しい情報は電話 ((905) 453- 2121 ext. 4027) で担当係官に連絡されたい。

JSS 説明

このところあまり耳にしなかった空港での盗難に関する記事である。また、この種の事件が警察から発表される事はあまりないので、被害が頻発ないしは多発している事が想定できる。

この記事では犯行の手口がかなり詳しく述べられているので、情報として取り上げた。記事になっていけば「注意不足」と言うこともできようが、犯人達の巧妙なやり方に実際に出会った場合、とっさに不審を持てるかどうかは気にかかる。

大変残念な事ではあるが、見知らぬ人物には絶対に気を許さないことが肝心であろう。記事に上げられた以外にも、これまで耳にした事例では、単純に話しかけるのではなく、被害者を慌てさせるような事態を作る(被害者に水をかけたり、時にケチャップをかけるなどもあるようだ)、親切ごかしの接触をする(荷物を運ぶのを手伝うなど)、官憲を装うなどなど手口はいろいろである。

なお、被害にあったと気づいたら、大声を上げ周囲の注意を呼ぶことは、まだ犯人が近くにいる場合効果があるようだ。